ふるさとの風土に学び
人がきらめき　人がつながる
おびひろの教育

令和４年度　教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和３年度対象）

【概要版】

点検・評価の基本的な考え方

趣旨
○目的　効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす
○根拠　地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条
○取扱　報告書を議会に提出・市民公表

対象
○令和３年度に実施した取り組み

方法
○帯広市教育基本計画の「個別施策」ごとに実施
○取り組みの成果と、課題・今後の方向性の２つの観点から点検・評価

学識経験者の知見の活用
○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けて活用をはかる

点検・評価の結果

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成

－　１　ふるさと教育の推進　－

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	44.7	39.4	48.8				60.0以上
中学	39.1	38.9	41.1				55.0以上

帯広牛トンすき焼き丼

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○「おびひろ市民学」における、郷土への愛着や誇りの育成、地域社会の一員としての意識を育む教育を推進 ○各種教育施設での展示や各講座等を通した学びの機会を提供	○引き続き「おびひろ市民学」による系統的な学びをすすめる ○地域資源や特色を生かした様々な体験機会を提供する
食を通じたふるさと理解の促進	○地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通じた地域の食や産業への理解促進 ○栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を促進	○引き続き地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通して、地域産業への理解促進に向けた教育をすすめる ○栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解をすすめる
地域社会に参画する意識の醸成	○体験活動やリーダー研修を通し、地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を実施 ○租税の役割や公共施設の整備について理解促進のほか、小中学校における親子防災講座を実施	○感染症対策を実施しながら、体験活動やリーダー研修を行い、リーダー養成事業の充実をはかる ○消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組みの基本的な知識を身に付ける教育をすすめる
環境教育の推進	○環境破壊や自然災害について、実社会との結びつきを意識した教育を促進 ○児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について学ぶ機会を提供	○学校での環境教育を推進し、自然環境について学び考える機会を設ける ○学校以外の教育施設を活用した体験機会を設ける

－　２　職業観の育成　－

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	93.6	93.8	95.6				100.0
中学	94.6	95.6	95.5				100.0

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校におけるキャリア教育の推進	○多様な職業の理解促進のため、外部講師を招いた授業を実施 ○一人一台端末を活用したインターネットによる調べ学習やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施	○社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上がはかられるよう、指導・助言を継続する ○キャリア教育の好事例について、学校間連携がはかれるよう情報共有をすすめる
職業体験機会の充実	○おびひろキッズタウン及び多くの施設の職業体験関連事業は感染症の影響で不実施。動物園では、インターンシップの受け入れ、職業調べや講話を通じ、飼育員や獣医師の仕事について理解を深める機会を提供	○感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら職業体験関連事業を実施する

－　３　情報教育の推進　－

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	87.4	81.0	－				90.0以上
中学	73.8	79.0	－				80.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
情報活用能力の育成	○情報を整理・比較し、発信・伝達する力の育成のため、一人一台端末等の ICT を活用した学習活動を実施	○一人一台端末を活用するほか、ICT を活用したスマート農業等、地元企業と連携し ICT の活用に関する学習をすすめる
情報モラルの育成	○著作権やプライバシーの保護等についての理解を促進するよう教育課程を編成。関係機関との連携による講演会の開催や販売店への立入調査などを実施	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等の啓発を行うほか、関係機関・家庭等と連携して情報モラル育成及び安全利用に関する啓発をすすめる
プログラミング教育の推進	○発達の段階に応じたプログラム体験の実施等、プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力を育成	○一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する

－　４　国際理解教育の推進　－

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H29～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	66.3	－	－				75.0以上
中学	64.4	－	－				75.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を実施 ○外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用した体験的なコミュニケーション活動を実施	○小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に取り組む ○外国語指導講師等との触れ合いを通じ、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかる
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通し、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる

－　５　南商業高等学校における教育の推進　－

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
－	26.7	15.7	16.6				50.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習により、卒業までに全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合 85.0%（道内１位）達成	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導をすすめるほか、多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む
地域経済に貢献する人材の育成	○マナー講習会の開催、企業訪問や各種の模擬試験の実施に取り組んだ結果、就職・進学ともに内定率 100%達成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む
地域社会との連携・協働による教育の推進	○学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善をはかる取り組みを推進。学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指す「コミュニティ・スクール」を設置	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をもらうほか、学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善をはかる
地域とつながる活動の推進	○感染症流行により、地域住民向けの学校開放講座は中止 ○部活動実施制限や学校行事等の中止等に伴い、ボランティア活動機会は減少	○学校開放講座は、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう、実施手法や内容を見直す ○ボランティア活動は、感染症の状況を見定め、主催者等と連携して取り組む

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

－ ６ 学びを生かす力の育成 －

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H30～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	75.8	71.7	74.8				85.0以上
中学	79.8	75.7	85.2				85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校における授業の工夫・改善	○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協働的な学びを促進	○一人一台端末を活用した授業を通じ、「子ども」が主語となる授業実践をすすめる
学習活動の支援	○常時ダウンロード可能な小中学生向け教材の教育研究所ホームページへの掲載や、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供 ○学級閉鎖や臨時休業により、登校ができない児童生徒の学びを保障するためオンライン学習等を実施	○一人一台端末で活用できる教材作りや「ぶっくーる便」の計画的な入替による児童にとって魅力的な図書の提供 ○感染症の流行に伴う学級閉鎖等に備え、オンラインを活用した学びの保障の充実をすすめる
教育課程の工夫・改善	○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」の作成のほか、教職員及び子どもたちの負担を軽減し、教育へのニーズに対応できるよう、学校行事のあり方の見直しを実施	○目標の実現に必要な教育の内容等を、横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実をすすめるとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた「教育課程編成の手引き」を作成する
学力の分析・検証	○CRT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中学校に配付	○学力分析・検証の精度を更に高めるため、より検査母数の多い学力調査を採用し、学校に還元する
体験的・問題解決的学習の推進	○児童会館での科学実験・工作、図書館での講演会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験的な学習を推進 ○関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を実施	○図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する ○オンラインの活用等による実施方法の検討をすすめる

－ ７ 豊かな人間性と創造性の育成 －

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	69.7	70.7	76.6				85.0以上
中学	71.1	79.5	78.7				85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
道徳教育の充実	○公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実をはかり、道徳科の授業改善を推進	○地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等により道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性の育成をすすめる
読書活動の推進	○多様な読書機会を確保するため、電子書籍の活用をはかったほか、おはなし会の開催や、オススメ絵本リストの作成等、学校と図書館が連携した取り組みを実施	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携をはかるほか、電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む
文化芸術活動の推進	○子どもたちの感性や創造力を育むため、各授業等で多様な文化芸術の体験的な学習をすすめたほか、ＩＣＴを活用した情操教育を実施	○ＩＣＴを活用した演劇鑑賞等の文化芸術に触れる機会の提供や、学習発表会や文化祭の様子の発信等を通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめる
体験活動の推進	○ＩＣＴを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じた体験活動機会を提供	○各種社会教育施設と連携し、感染症対策を踏まえながら、魅力ある体験活動を提供する

－ ８ 健やかな体の育成 －

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	94.0	91.0	92.1				100.0
中学	93.6	94.0	92.9				100.0
指標名	１週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（%）						
区分	基準値【H26～H30平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	88.5	－	86.1				95.0以上
中学	85.9	－	85.9				90.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
体力・運動能力の向上	○各学校における過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の検証を踏まえ、授業への反映や生活習慣を見直し	○体力向上推進プロジェクトチームによる各学校への派遣指導等を通じて授業改善等の取り組みをすすめる
安全・安心な学校給食の提供	○安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供のほか、アレルギーを持つ児童生徒向けに学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づく取り組みを実施	○適切な栄養バランスを考慮した学校給食を提供するとともに、アレルギー情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む
正しい「食」への理解の推進	○「帯広らしい食育プログラム」のもと給食指導の支援や食に関する指導の実施 ○「食育通信」の配付等による食に関する正しい知識の提供と望ましい食習慣を啓発 ○図書館常設の食文化コーナーにて食に関する様々な図書の展示	○児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベントを実施する ○「食育通信」等の資料の配付を継続する ○食育月間に合わせて食に関する映画会・おはなし会等を開催する
健康教育・健康保持	○関係団体と連携した学校保健委員会の設置のほか、学校の教育活動全体を通じたがん教育や体育・健康に関する指導を推進 ○衛生用品の購入等による学校環境の整備	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育をすすめる ○学校の感染症対策の取り組みを継続する

－ ９ 教員の資質・能力の向上 －

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	82.6	83.1	84.8				90.0以上
中学	74.8	71.2	79.4				80.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教員の指導力の向上	○指導主事による学校教育指導訪問での、管理職や教職員への指導・助言。学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座や、ＩＣＴの効果的な活用を一層促進するための研修を開催	○受講率の向上をはかるため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座の企画に取り組む
教職員の働き方改革の推進	○教職員の勤務状況の改善等に向け、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第２期）」を作成 ○負担軽減や感染症対策を踏まえ、オンラインの活用等により職員向け研修を開催	○教職員の業務効率化のため、校務支援システムの導入をすすめる ○職員向け研修における、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりをすすめる

基本施策３ 地域とともに育む教育の推進

－ １０ 地域との連携・協働の推進 －

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値 R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R11）
小学	58.2	50.4	47.8				70.0以上
中学	35.2	34.3	35.1				50.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域における支援体制の充実	○コミュニティ・スクールを新たに１７校で導入のほか、コミュニティ・スクール通信の発行や他校の好事例を紹介 ○帯広市学校・家庭・地域協働会議における意見交換や地域コーディネーター向けの研修会の実施のほか、基金を活用した団体同士の連携した活動を支援	○令和４年度中に全校でのコミュニティ・スクール導入のほか、指導主事による全国の好事例等の情報提供をすすめる ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等のほか、基金を活用してボランティア団体同士の連携した活動の拡大をはかる
子どもの安全対策の充実	○登下校時の見守り活動のほか、災害情報や不審者情報、感染症関連の保護者等への速やかな情報提供のため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用 ○子ども１１０番の家を 1,009 箇所に設置	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる ○登録者の確保により「子ども１１０番の家」事業の拡充をはかる
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業における、異世代交流や多様な体験活動を通した豊かな人間性や社会性の涵養促進	○感染症の流行に伴い、子どもの居場所づくり事業を担うボランティア登録者数や参加児童数等が減少していることから、実施方法やPR活動を工夫し、事業を継続する

令和４年度教育に関する点検・評価の概要

― １１ 家庭教育への支援 ―

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
小学	77.8	73.2	―				85.0以上
中学	76.6	77.8	―				85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教育相談の充実	○家庭訪問相談員及び心の教育相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、友人関係等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめる
家庭教育力向上のための支援	○学校において起床や食事の摂取状況等の記録シートを配付し家庭への助言を実施 ○「食育通信」による児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣等を啓発。乳幼児健診時のブックリストの配布による保護者への啓発活動を推進	○学校では子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向け、「おびひろ市民学」を中核とした消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発をすすめる ○家庭に向けて「食育通信」の配付や、図書館における絵本セットの内容の充実等の子育て世帯の支援をすすめる
ＰＴＡとの連携の促進	○学校とPTA 間における情報交換。帯広市ＰＴＡ連合会への補助金の支出やＰＴＡによる各種事業の後援等の PTA 活動への支援	○各校ＰＴＡや帯広市 PTA 連合会等との情報交換をすすめる等、関係団体への行政支援を継続する

― １２ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進 ―

成果指標の状況							
指標名	小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合（%）						
区分	基準値 【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
小学	19.2	19.2	19.2				100.0
中学	21.4	21.4	14.3				100.0

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校間の連携の促進	○幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校でそれぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有のほか、学びのつながりを意識した教育課程を編成 ○義務教育９年間を見通した教育課程を編成し、小中学校の接続を意識した学習指導を推進	○幼保・小・中における教育実践への相互理解促進のため、各エリア内の授業交流や小中教員の部会による教育課題の共有等、学校種間の連携強化をすすめる ○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成をすすめる
通学区域の見直しの実施	○大空学園義務教育学校の開校に向け、大空小学校並びに大空中学校区域を基に通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる

基本施策４ 安全・安心な教育環境の整備

― １３ 誰もが安心して学べる教育の推進 ―

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
小学	96.2	97.5	96.4				100.0
中学	94.2	96.8	96.2				100.0

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
いじめ・非行の防止	○いじめや人権について皆で考え議論する場を設けたほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学べる環境の整備のほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む
不登校への対応	○不登校傾向の子どもや保護者からの相談対応や助言等のほか、適応指導教室の運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を推進	○教育相談員の専門性の向上をはかる研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化をすすめる
教育機会の確保	○経済的理由による就学が困難な児童生徒の保護者へ就学援助費を支給。大学生等への奨学金による支援 ○農村地域の遠距離通学児童生徒向けにスクールバスを運行 ○市内高等学校の間口確保に向け、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」へ出席	○他地域の事例を参考にしながら、就学や通学に関わる経済的な支援をすすめる ○スクールバス安定運用のため車両更新や運転手確保について検討する ○各種会議等の機会を通して情報収集や要望活動を行う
一人ひとりに応じた教育の充実	○特別支援学級の設置やアイヌ子弟の就学支援のため扶助費を支給。支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備。農村地域の小規模特認校制度の運用	○特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる

― １４ 安全で充実した教育環境の整備 ―

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値 【H30】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
―	0	0	1				9

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校施設の整備	○大空学園義務教育学校一期工事のほか、各学校における各種工事及び個別改修	○計画的かつ継続的な修繕による学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備をすすめる
学習環境の整備	○一人一台端末などの円滑な維持管理のための学校 ICT ヘルプデスク設置のほか、小学校３・４年生 21 校分の机・椅子を更新 ○南商においてタブレット端末（50 台）を整備	○児童生徒が主体的に学ぶ力を育成するため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大をすすめる ○南商では商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、情報機器の整備をすすめる
学校適正規模確保の推進	○大空地区義務教育学校準備協議会を開催し、大空学園義務教育学校の校歌、校章等について協議	○学校の小規模化による影響の緩和をはかる取り組みをすすめるほか、令和４年度の児童生徒数及び学級数の推計を基に「後期対象校」の選定を行う

基本施策５ 自ら学びともに支える生涯学習の推進

― １５ 学習活動の促進 ―

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度（%）						
区分	基準値 【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
―	95.5	96.9	93.5				100.0

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学習機会や情報の提供	○感染症対策を行いながら市民大学講座等の開催や、生涯学習情報誌「まなびや」等を発行 ○図書館では帯広市電子図書館の開設に伴い「はじめての電子書籍体験教室」や、「電子図書館使いこなし教室」の開催 ○百年記念館では感染症対策のため定員を設けたうえで、博物館講座や郷土学習見学会を開催 ○動物園では SNS を活用した情報発信をのほか、オンラインでの講座等を実施	○市民大学講座のオンライン配信や開催時間の工夫のほか、生涯学習情報誌により情報提供に努める ○図書館では必要な情報を引き出しやすい仕組みづくりの検討をすすめる ○百年記念館では感染対策を踏まえた事業のありかたを検討し、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む ○動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実をはかる

― １６ 学習を通じたまちづくり ―

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（%）						
区分	基準値 【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
―	26.3	21.5	25.4				31.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
自主的な学習活動の支援	○帯広図書館友の会の活動支援を実施 ○百年記念館、動物園においてボランティアと連携した企画展や活動機会を提供 ○生涯学習推進委員会では、規模の見直しや感染症対策を行いながら「コミュニティ講座」開催	○帯広図書館友の会の役員との情報交換等により、相互連携を深める ○百年記念館、動物園のボランティア人員の充実に向けた支援を継続する ○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援を継続する
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度により、様々な分野において活躍する人物を指導者として登録	○生涯学習指導者登録制度の認知度や利活用頻度を高めるため、市ホームページやＳＮＳを活用して情報発信を強化する

― １７ 社会教育施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値 【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R11)
―	96.5	97.3	92.3				100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○老朽化が進んでいるとかちプラザ等の社会教育施設の修繕や設備の更新を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○感染症対策のため、少人数制での開催やオンライン配信等の新たな手法による学習機会を提供	○指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組むほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営を進める

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

― １８ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働 ―

成果指標の状況							
指標名	直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	64.7	45.1	43.4				65.0 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
市民文化芸術活動の促進	○日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催。とかちジュニア文芸第１２号を発刊 ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を実施	○市民の発表機会を提供する事業の継続のほか、とかちジュニア文芸文章教室の開催により子どもたちの創作意欲を高め、読解力・表現力の向上をはかる ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を継続する
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用した文化団体の情報提供 ○文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞にて３個人・１団体の表彰のほか、事業補助による文化団体の活動を支援	○文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報の提供を継続する ○文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う
文化芸術の鑑賞機会の提供	○感染症対策を行いながらさまざまなジャンルの鑑賞事業の実施や企業と協働したクラシックコンサートを開催 ○道立帯広美術館の特別企画展「水木しげる　魂の漫画展」に参画し、市民に芸術の鑑賞機会を提供	○感染症対策を行いながら市民が文化芸術に直接触れる機会を提供 ○芸術鑑賞機会の提供のため、道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する

― １９ 文化資源の継承・活用 ―

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	2,161	1,728	1,638				2,269 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の管理及び史跡標示板の修繕、開発行為と埋蔵文化財保護の調整。重要文化財「八千代Ａ遺跡出土品」を活用した学校用教材を作成。十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ 23 号を公開	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行うほか、文化財の活用事業を継続する。「八千代Ａ遺跡出土品」の適切な保存及び積極的な活用のため、計画的な修理・美装化を実施する
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動の補助のほか、古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動の補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承をすすめる
市史資料収集・保存	○令和２年度の出来事をまとめた「年史報告書」の作成、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施	○「年史報告書」作成の継続のほか、令和４年度の帯広市開拓 140 年・市制施行 90 年の周年事業を通じて資料収集事業に取り組む

― ２０ 文化施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【H26～H30 平均】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	83.0	84.3	87.6				88.0 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保及び施設機能の発揮のため、修繕等の施設の機能維持向上に向けた施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上をはかりながら、効果的・効率的な管理運営を実施	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

― ２１ 多様なスポーツ活動の促進 ―

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（%）						
区分	基準値【H27～R1 平均】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	21.0	18.1	17.6				22.0 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
スポーツの振興	○競技大会への選手の派遣支援等で、スポーツ振興及び競技力向上をはかったほか、スポーツの普及・振興に貢献した個人・団体を表彰。各種大会のほか、合宿・プロスポーツ等の誘致や開催支援を通して、市民へスポーツ観戦機会を提供	○競技大会への派遣支援やスポーツ賞等による表彰を行うほか、市民へスポーツ観戦機会を提供する
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○帯広市スポーツ協会への支援やスポーツ少年団指導者育成を支援	○活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめる
スケート競技の振興	○スピードスケート競技のすそ野拡大や地域応援体制の整備等を通して地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進	○スピードスケートをはじめとした各種競技スポーツの普及や、競技者人口の拡大及び競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を継続する

― ２２ スポーツによる活力のあるまちづくり ―

成果指標の状況							
指標名	１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	82.4	82.0	90.1				87.0 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域スポーツの振興	○地域住民が自ら企画・運営する６つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援 ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設開放を実施	○スポーツ教室の開催を通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校現場等への感染症の影響に配慮しながら学校施設の開放に取り組む
スポーツ大会合宿等誘致	○競技団体との連携による各種全国・全道大会やプロスポーツ等の誘致及び開催支援を実施。オンライン方式によるフードバレーとかちマラソン大会の開催	○各競技団体と連携をはかり、感染症対策を行いながら受入体制の整備をすすめる

― ２３ スポーツ施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【R1】	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値（R11）
－	77.3	82.7	80.4				82.0 以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保と施設の機能を発揮するため、各種改修工事等の施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○民間活力を生かした指定管理者制度のほか、パークゴルフ場では指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む